

# 東京大学 海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト2015

## FIA TOROPHY FOR HISTRIC REGULARITY RALLIES

# RALLY COSTA BRAVA

ラリー

コスタ

ブラバ



結果報告は4月上旬、三菱自動車販売会社のショールーム店頭で!!



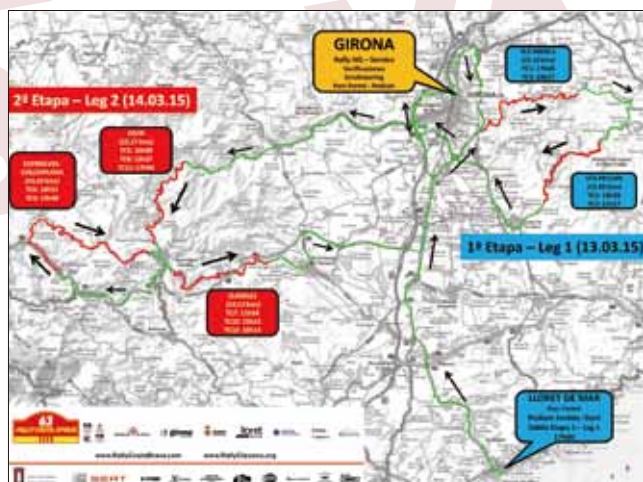
過去の大会でのスタートの様子

### スペインの古道を 駆け抜ける初代ランサーGSRへの期待

今回、東京大学「チーム剛」と篠塚建次郎氏が駆るラリーマシンは、1974年のサファリラリーで優勝を果たした初代ランサーGSRと同型のモデル。レギュラリティラリーとして平均速度50km/hクラスに出場する。このクラスは年代、排気量に関係なく最終成績によって順位が決定することもあり、マシンを壊さないことで知られる篠塚氏のドライビングがあれば、往年の名車として人気の高いポルシェやランチアを相手に優勝することも夢ではない。レースは3月14日のレグ1、3月15日のレグ2と、総走行距離570kmのターマック路(舗装路)で争われる。東大生と篠塚建次郎氏のタッグは、どんな化学反応を見せてくれるのだろうか? 私たちに大きな夢を与えてくれる「東京大学 海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト」を、ぜひとも応援して欲しい。

### ドライビングテクニックと コ・ドライバーの正確性が求められる

「東京大学 海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト2015」として挑戦する伝統のヒストリックラリー選手権「コスタブラバ」。その中でチーム剛は「レギュラリティラリー」と呼ばれるカテゴリーにエントリーしている。レギュレーションは規定のコースに設置されたチェックポイントを規定の時間、規定の速度で走行するタイムレース方式となり、的確なドライビングテクニックと時間をコントロールするコ・ドライバーの正確性が要求される。規定時間と実際の走行タイムのズレが点数となるため、単に早い時間で走り抜けるだけではポディウムの頂点に上ることはできない難しさがある。1953年から始まり、今回のレースで63回を数えるスペイン最古のラリー「コスタブラバ」。例年100台を越える往年のヒストリックカーが参加し、ジローナ(カタルーニャ地方の東海岸)の美しい街並みを走り抜ける。



**RALLY COSTA BRAVA**  
東京大学 海外ヒストリックラリー参戦プロジェクト2015  
篠塚建次郎 × TEAM剛

03